

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 東海大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学科船水・小林1年生ゼミ

実施内容 平成25年11月2日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

小グループでテーマを設定し、「児童虐待とは何か」「児童虐待の被害の予防と対応」「オレンジリボン運動とは何か」等のテーマについて文献資料から情報収集した。オレンジリボンについてのアンケートを作成し、大学祭までの間に他のゼミの学生へ意識調査を行った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

事前学習で作成したポスターを展示した。さらに、ポスター型のアンケートにオレンジのシールを貼って回答する調査を作成した。大学祭の来場者へ声かけを行い、展示をみていただき、アンケートに回答いただき、オレンジリボンを配布する活動を行った。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

事前学習の中で、あらためて、主体的に、どのような情報を提供するかを考え、情報収集したことで、漠然としたイメージであったことが具体的となった。

ただ、展示をみてもらうだけでなく、大学祭の来場者が、シール貼り式のアンケートに協力することで、参加型の展示を行うとともに、自分のこととして受けとってもらうことができた。

宿題としてではなく、自主的な活動としての主体性を高めるために、大学祭時期の土曜日を活用し、展示を行った。地域の住民等の大学祭来場者の興味関心や理解を得ることを努力することで、より、活動の意義を考える機会となった。

